

# 水の公園福島潟水の駅「ビュー福島潟」等指定管理者事業計画の比較

北区地域課

評価項目		福島潟みらい連合(選定者)			次点
		中越クリーンサービス(株)	特定非営利活動法人 ねっとわーく福島潟	(株)新潟フジカラー	
1 事業者の概要	設立	H6. 12. 1	H9. 5. 25	S38. 12. 2	S54. 9. 27
	事業内容	○リースキン事業 ○ビル管理事業 ○介護福祉用具リース事業	○福島潟自然保護活動 ○水の駅「ビュー福島潟」ショップ経営	○カラー写真制作 ○結婚式場運営 ○携帯電話販売 ○サインディスプレイ企画制作	○学生寮 ○社員寮 ○リゾートホテル事業 ○ビジネスホテル事業 ○自治体向け業務受託事業 等
	施設管理実績	新潟県少年自然の家清掃業務 等	水の公園福島潟潟来亭とオニバス池の管理業務	なし	全国に体育館等 54施設 (指定管理)
2 経営理念・運営方針	<p>(1)福島潟の恵まれた環境のもと、自然に学び、自然と共生する。                  (2)福島潟とその周辺の豊かな自然環境を守り、生物多様性の維持と持続可能な利用に配慮した地域づくりを進める。                  (3)福島潟の自然情報、各種事業案内、イベント情報、調査研究情報等を各教育・研究機関と連携しながら確実に発信・収集する。                  (4)市民、行政と協働連携を図り、市民の意思を十分に尊重し、効果的・効率的運営を図る。                  (5)全職員に公益使命を自覚させ、おもてなしの心と感動のサービスを提供                  (6)法令準拠で安全を確保し、安心清潔で落ち着ける利用環境を提供</p>			<p>(1)多種多様な動植物が生息し、「オホシクイ」の日本最大の越冬地である福島潟の自然特性を十分理解する。                  (2)行政と市民団体、他の施設管理者と連携を図る。                  (3)施設運営だけでなく、福島潟の自然保護を推進し、市民の交流の場を提供する。                  (4)地域文化の伝承と新たな文化を創造する「自然文化事業」を推進する。</p>	
3 指定管理者申請の動機、意欲及び抱負等	<p>NPO 法人ねっとわーく福島潟は、開館当初からショップ運営、自然学習園の維持管理に関わり、福島潟の自然調査、環境保全に努めてきた。地元で営業所を持つビルメンテナンスの大手の中越クリーンサービス(株)が施設管理、園地管理を担い、(株)新潟フジカラーはビジュアル系イベント企画に長年携わってきた。福島潟で求められる業務範囲に応えられるのは当共同事業体だけであると確信し、「地元優先」「地元市民の活動を円滑に」「福島潟みらいの里潟づくり 人づくり まちづくり」をモットーに3者が協同して運営にあたりたいと思う。</p>			<p>当社は、民間企業のノウハウを結集して、公的観光施設の運営改善を行い、行財政改革の一助となることを目的としている。                  また、平成 24 年度より、福島潟利便施設「観水庵」の運営を行い、「水の公園福島潟」の自然保護や地元ボランティアグループとの交流、市外からの集客活動を展開してきた。                  この実績を踏まえ、拡大発展と福島潟の自然文化事業の推進のため応募した。</p>	
4 中期計画・長期的展望	<p>(1)潟の動植物の把握・保護育成と新潟市の生物多様性地域計画をサポート。                  (2)市民の自然・潟文化への理解促進、学校の環境教育の場としての活用。                  (3)自然と農業環境との共生モデルを創造する。                  (4)水の駅「ビュー福島潟」の利用者の増加を図る。                  (5)安全で効率意的な施設の運営とホスピタリティを確保する。</p>			<p>運営改善のための3ステップに基づき、事業運営の土台づくりを固めた後、ステップ①コスト削減→ステップ②総客単価アップ→ステップ③利用人数アップを行う。</p>	
5 自然文化に関する業務の取り組み	<p>(1)福島潟の自然保護の普及啓発                  NPO 法人ねっとわーく福島潟の業務経験を踏まえて実施する。                  (2)福島潟の自然と文化の情報の収集と提供                  従前業務は継承、更に潟の民俗・歴史・食文化の伝承・発信も行う。                  ①潟来亭での門松やひな祭り団子作り ②潟舟で潟案内と漁法の伝承                  ③生き物観察会(冬芽、食痕探し等) 等                  (3)福島潟の希少動植物の保護育成                  仕様書のとおり実施。</p>			<p>(1)福島潟の自然保護の普及啓発                  行政と連携し、仕様書に基づき実施し、更に良いものにする。                  (2)福島潟の自然と文化の情報の収集と提供                  仕様書のとおり実施。                  (3)福島潟の希少動植物の保護育成                  仕様書のとおり実施。</p>	
6 自主事業計画	<p>水の駅「ビュー福島潟」ショップ経営、自動販売機の設置、収穫祭など有料イベントを開催する。</p>			<p>名物メニューのある「喫茶」、福島潟の農産物や水産物コーナーのある「売店」、自動販売機の設置、有料イベントを開催する。</p>	
7 組織・人員体制	<p>常 勤:館長、事務局長、事務、レンジャー、イベント等担当、研究等担当 各1名⇒6名(正規職員)                  非常勤:レンジャー3名、受付2名、清掃1名、潟来亭管理1名⇒7名                  合 計:13名</p>			<p>常 勤:館長1名、管理担当1名、事務担当2名⇒4名(正規職員)                  非常勤:レンジャー5名、フロント4名⇒9名                  合 計:13名</p>	
8 雇用・労働条件	<p>(1)実務経験のある専門性の高い職員を適正に配置する。                  (2)新潟市民の優先的な雇用を行う。                  (3)勤務ローテーションも無理のない勤務形態とする。                  (4)高齢者や障がい者の雇用も推進する。</p>			<p>(1)現場従業員の採用は、現施設で勤務している方、地元住民を優先して採用する。                  (2)現場従業員の処遇は、65歳までの雇用を確保(原則)し、一般社員登用制を採用する。</p>	
9 人材育成方針	<p>(1)行政の管理代行者としての使命と責任を担う人材を育成する。                  (2)指定管理事業であることを重視した研修システムを構築                  (3)研修内容:①個人情報保護研修②接客研修③救命救急訓練 等</p>			<p>(1)サービスの原点は「礼節」を基本としたお客様に対する思いやりと考え、気配りや接客マナーと人間性を重視した従業員の教育を徹底する。                  (2)各部門の毎日の朝礼やマネージャー会議を実施する。                  (3)研修内容:①個人情報保護研修②接客研修③救命救急訓練 等</p>	
10 適正な事務事業の実施に係る対策	<p>(1)環境保護の取り組み                  ①施設内外の緑化推進 ②省エネルギーの徹底管理 ③ゴミの排出発生抑制減量化                  (2)関係法令の遵守                  ①透明性の高い施設運営と条例を遵守した情報開示 ②内部規定、マニュアル作成・遵守と職員教育の徹底                  (3)個人情報保護                  ①個人情報保護条例の遵守と個人情報保護方針の策定 ②内部規定、マニュアル作成・遵守と職員教育の徹底 ③日常的なモニタリング・内部監査の実施</p>			<p>(1)環境保護の取り組み                  日常業務の中で、効率的な省エネ活動を行うために電気、清掃、水道、廃棄物、植栽管理の農薬使用制限、従業員や利用者の省エネ啓発などのチェック項目を設け、実践する。                  (2)個人情報保護                  ISMS(インホメーション・セキュリティ・マネジメント・システム)の資格を取得し、個人情報の保持の徹底を図る。</p>	

11 利用者サービス向上の取り組み	(1)入館者の声の評価・分析し、施設運営にフィードバックし、さらに入館者へフィードバック (2)進捗管理におけるモニタリングとマネージメントの徹底	(1)施設内にアンケートと回収ボックスを設置 (2)入館者の感想、評価を常時把握し、PDCA サイクルを実践						
12 安全確保及び緊急時の対応	(1)自主的な危機管理マニュアルの作成と防犯活動。 (2)災害対策組織を設置し、訓練の実施と地域団体との連携を図る。 (3)日頃から地域の消防署、警察署、医療機関との連携を密にし、新潟市関連部局との緊急連絡網、報告体制を整える。	(1)施設巡回や点検を重視し、事前の危険や不審者を察知する。 (2)防災マニュアルの作成と定期的な訓練を行う。 (3)関係機関との連携強化、緊急時連絡網の整備、支店本社のバックアップ体制を構築し、大規模災害時は他事業所からの応援を受ける。						
13 要望・苦情への対応	(1)「把握～反映～公表」の三位一体の仕組みづくりで、改善活動を実施。 (2)意見は業務改善に役立てフィードバックする。	(1)苦情対応基本フローにより対応、迅速な対応と報告を行う。 (2)苦情のフィードバックを行う。						
14 個人情報の取り扱い・コンプライアンス	(1)透明性の高い施設運営と条例を遵守した情報開示 (2)内部規定、マニュアルの作成・遵守と職員教育の徹底 (3)個人情報保護条例の遵守と個人情報保護方針の策定 (4)日常的なモニタリング・内部監査の実施	○当社の個人情報保護方針や市の個人情報保護条例に基づき、以下の監査体制を確立する。 ①誓約書提出義務 ②教育マニュアルの徹底 ③個人情報プロテクター保険の加入 ④内部規定の確立と監査						
15 社会貢献活動と市民団体との協働連携、ボランティア受け入れ等	(1)市民団体及び地域と十分なコミュニケーションをとり、良好な関係を作る。 (2)学校や自然団体と協力連携を深めボランティアの受け入れ環境を整備。 (3)福島潟自然文化祭は最大限の努力で行う。 (4)水の公園福島潟連絡協議会では、開催業務を主体となって行う。 (5)市民団体へは引き続き積極的な活動支援を行う。 (6)市民団体との協働と連携についても助言、場所の提供、レンジャーの派遣等の協力を行う。	(1)福島潟は、市民のふれあいの場であり、学習の場であり、活動の場であることを十分理解し、現在、活動を行っている市民団体への支援を強化し、連携を深め、他の市民団体へも拡大していく。そのため人間関係づくりを大切にしていく。 (2)売店や喫茶において、福島潟の農産物や水産物を積極的に利用し、地域の生産者支援を行う。各種の仕入れは地元業者を優先する。 (3)地元菓子業者との連携を図り、オリジナル商品の開発に努める。 (4)専門知識が必要な各種保守メンテナンス業務は、地元業者へ再委託。						
16 収支計画	区分	科目	平成 26 年度	5年間の合計	区分	科目	平成 26 年度	5年間の合計
	収入	・指定管理料	64,950 千円	324,750 千円	収入	・指定管理料	65,000 千円	323,500 千円
		・自主事業収入	10,500 千円	56,740 千円		・自主事業収入	3,220 千円	22,500 千円
		合計	75,450 千円	381,490 千円		合計	68,220 千円	346,000 千円
	支出	・人件費	28,780 千円	143,900 千円	支出	・人件費	29,946 千円	149,730 千円
・管理費		26,170 千円	131,850 千円	・管理費		25,999 千円	130,536 千円	
・事務費		5,550 千円	27,750 千円	・事務費		1,522 千円	7,610 千円	
・事業費		5,000 千円	25,000 千円	・事業費		6,000 千円	30,000 千円	
・自主事業経費		9,750 千円	51,040 千円	・自主事業経費		4,693 千円	27,158 千円	
	合計	75,250 千円	379,540 千円		合計	68,160 千円	345,034 千円	
収支		200 千円	1,950 千円	収支		60 千円	966 千円	